



第 60 回

葉山郷土史研究会

その昔、葉山の人々はどんな暮らしを営み、どのような生活文化を築いていたのか。それを探究して記録に残し、さらに先人の営みを現代の町づくりに生かそうと、四年前に小さな歴史サークルが産声を上げました。それが葉山郷土史研究会です。

最初は会員もたったの三人。しかし、口コミなどで輪が広がり、今は二人に増えました。最高齢は九一歳の黒田康子さん。長年、中学校で社会科を教え、会の顧問的存在ですが、「とにかく元気いっぱい。中世の城跡を探すために、我々と一緒に山道を登るんですから」と、会長の吉田耕一さんです。すっきり脱帽の様子です。

月一回、第四日曜日には例会を開催。日頃は個々に研究している会員が顔をそろえ、それぞれの研究成果を発表したり、外部講師の話に耳を傾けます。

また、昨年一月には九人のメンバー



で「古文書部会」が発足。町内に残る地方（じかた）文書（庶民の生活などを記録した古文書）を発掘して、解説、保存する作業を精力的に行っています。「これまでに発掘した古文書は五〇〇点以上。旧家が解体されると聞いて、すぐに飛んで行き、蔵の中から貴重な古文書を見つけたこともある。我々が行くのが遅れたら、散逸は免れなかったでしょう。まさに危機一髪でした」と、部会員の濱岡辰紀さん。

昨年四月には、これまでの研究成果をまとめ、鑑摺（あきづり）について特集した「郷土誌葉山」を創刊。続いて今春は第二号（二色特集）を刊行しました。この雑誌の売れ行きは好調で、葉山のベストセラーになったこともあるそうです。

葉山歌壇俳壇

短歌

岡田 保子 選

◎桜貝と思ひて腰を屈めみる引潮の涙のさくら花びら
 （評）春風の過ぎ去った後や引潮の渚に薄紅の透き通る桜貝を拾う悦びがある。見紛う様な花びらが濡れた砂地に。天然の美しさ、惜春の思いが伝わります。

鳥居をくぐりしらず神に近寄りて奥の殿なる灯火に会う
 山ひだに白く残りし雪ありて五月の富士は青くなりゆく
 花ひらく音とも聞けり短夜の連葉を叩く雨の幾粒
 早苗東はうる老農よろめかず棚田の田植え汗流しつ
 静かなる墓参の森に透きとほるうぐすの声若葉を揺らす
 梅雨晴れの日差しの強き斜面にはつわぶき照りて鳥はま昼間
 蝶のごと舞つてゐるわたし夢にみて今日も踏みまますクイック・クイック・スロー
 気配して見返る道に我が行くはこつちと背を向く老い猫の意地
 紫陽花はリトマス試験紙と言ひし母形見一株青やかに映ゆ
 山本 ふで
 岩渕寿々子
 鈴木 久江
 安藤とみ子
 三浦美津代
 中川 弘子
 渡辺 知子
 山岸由美子
 近藤 紀

俳句 沼田葉櫻子 選

俳句 浅井 一志 選

*風立ちて光に濡るる柿若葉 新谷 幸子
 （評）富安風生の句に「柿若葉重なりもして透くみどり」という句があるが、雨後のつやつやとした萌黄色はほかの若葉よりも明るくて美しい。特にそよ風に吹かれて光りの動くさまは格別である。そんな風景が素直に表現されている。

*病む人に言葉を選ぶ薄暑かな 新井かね子
 （評）それほど重病でないとと思うが、病氣見舞い行くと気づくかは大事である。中七の「言葉を選ぶ」というからには相手も気丈な人でもなさそう。女の人かも知れない。作者の心の動きが見てとれる。

贈られし菓子子の琥珀や夏立ちぬ 石川 光子
 （評）二十四節気の一つで陽暦の五月六日頃に当たり、暦の上で夏に入る日が立夏である。贈られた菓子子の琥珀色を見て感覚的に夏の来たことを認識したのである。そこがいい。

あのを曲がれば生家薄暑かな 川崎 虎童
 （評）何かの理由で生家を訪うことになったのであろう。いつものように角を曲がるとすぐに生家である。少し汗ばむような陽気にやっと来たような感じが、しばらく振りの訪問には深刻さはないと思われる。

夕闇に十葉白き在り所 近藤 糺
 *病む人に言葉を選ぶ薄暑かな 新井かね子
 薫風や朽ちし祠の五輪塔 石井富貴子
 走り梅雨ゴッホの黄色滲み进行 高梨 久子
 晶子の碑あおぎて梅雨のもやひ傘 安藤とみ子
 頭振り蟻せめぎあふ塔の下 多羅 空竹
 十葉の白にこだはる事ひとつ 安藤とみ子
 寄り添ひて野仏在す青葉冷え 片山 久女
 法名に変わる父の名露涼し 近藤 糺
 *風立ちて光りに濡るる柿若葉 新谷 幸子

締切は、掲載希望月の前々月末日必着。はがき1枚に、一人3首か3句まで（当季雑詠）、住所、氏名、電話番号を書いて、企画課「葉山歌壇俳壇係」まで

町長と語る

トーク広場

第34回

地域とともに生きる美術館を 町の新しいシンボル 県立近代美術館 葉山

県立近代美術館の三番目の施設として、一色の旧高松宮別邸跡地にオープンした「葉山館」。一〇〇歳を記念した「片岡球子展」など、魅力いっぱい企画展で人気を集める一方、海に面して景観が素晴らしいことから、来館者の評判は上々のようです。

また、地域とともに生きる美術館をめざし、楽しい企画やイベントを通して、地元との交流にも力を注いでいます。そこで、近代美術館の山梨俊夫館長に、葉山館の魅力や今後の展望などをうかがいました。

町長 葉山館が開館して、間もなく二年ですが、評判も良く、順調に推移し

ているようです。

山梨 お陰さまで、町民の皆さんはもとより、横浜、東京方面からのお客さんも多く、大変ありがたく思っています。

海に面した美術館ということで、当初は塩害が心配でしたが、それも杞憂に終わり、ホッとしています。

町長 海の近くということで、このような美術館は全国的にも珍しいんじゃないですか。

山梨 そうですね。潮の香りどころか、波の音まで聞こえてくる。ここまです海に近い美術館は、私もちょっと知りません。それにまた景観が素晴らしい。特に館内のレストランからは、御用邸の緑や松越しの砂浜、長者ヶ崎などが一望でき、眺めは抜群です。

町長 場所がら、夕日が素晴らしいんじゃないですか。

山梨 ええ、真っ赤な夕日が海に向かってゆっくり沈んでいく。その眺めは実に見事です。ただ日の長い夏場は、日没前にレストランが閉まってしまふ。そこで、お盆の前後だけは営業時間を延長して、夕日の眺めをたっぷり堪能していただくと考えています。

町長 それはいい。お客さんもきっと喜びますよ。葉山館が立地する場所は、御用邸や小さい公園、山口蓬春記念館に隣接し、葉山でも一番の文化・芸術ゾーンです。この素晴らしい環境を生かして、対応をぜひお願いし

ます。ところで、開館以来、地元との交流にも大変熱心ですよ。

山梨 これからの美術館は、地域と離れた『孤高の存在』あってはいけません。むしろ積極的に交流を求め、地域とともに生きていく。それが大切なことと考えています。

その一環で、昨年夏には『きょうのはやまに みをすます』というイベントを催しました。竹などで作った音の出る彫刻を、美術館の庭や小さい公園に飾り、音を楽しんでもらう企画でしたが、多くの町民の皆さんが参加し、大成功だったと思っています。

また、地元の方々に美術館に親しんでもらうため、先月は初めて美術館の無料開放も実施しました。

町長 天満敦子さんのバイオリンコン



サートも良かったですよ。美術館なので、音響がどうかと思いましたが、バイオリンの音色がとてもよく響き、心地よいコンサートでした。

山梨 美術館という異空間での音楽会ですから、不安もあったんです。でも、結果はうまくいった。あのコンサートを聴いたプロの音楽家から、来日する世界的なフルート奏者の演奏会を葉山の美術館で開きたいとの話もあり、ぜひ実現させたいと思っています。

町長 お話をうかがうと、葉山館の運営は順調のようですし、地元としてもうれしい限りです。残る課題は、美術館へのアクセスの整備ですね。

山梨 はい。逗子駅から葉山館に至る海岸通りの沿線には、昔の漁村の面影が残っていて、とても風情があります。ここに遊歩道でも完成して、ぶらぶら歩きながら、逗子駅から美術館に直行できたら、どんなに素晴らしいことか。

町長 そうですね。せっかく町の新しいシンボルが完成したわけですし、アクセス問題を何とかしたい。私も頑張りますから、ぜひご協力をお願いいたします。さて最後に展望を。

山梨 美術館としての機能の拡充はもちろんですが、地元に着した施設運営をこれまで以上に推進したい。その一環として、来秋には大規模な山口蓬春展を開催する予定です。

町長 それはうれしい。お互い力を合わせて、これからも頑張らしましょう。

文化財めぐり



5月26日・6月2日に葉山町文化財めぐりが行われました。初夏の陽光のもと、参加者は心地よい汗を流しながら、町内の文化財・史跡をめぐりました。



第2回子育てフェスティバル



5月12日に福祉文化会館で行なわれました。お買い物ごっこやプレイコーナーなどで遊ぶ子どもたちの笑顔があふれていました。

クリーン葉山

5月28日に湘南海岸13市町一斉に海岸の清掃を実施し、750人参加、約2.7トンのゴミを収集しました。今年も夏の観光シーズンを前にたくさんのごみが集められました。これからも自然を大切にする心を持ち続け、美しい海を守っていきましょう。



◆蓮の作陶展

二人の陶芸家の作る『蓮』を展示します。7月2日(土)～31日(日)2日(土)～18日(月祝)10時～20時、19日(火)～31日(日)10時～18時(23日(土)、24日(日)休み) ギャラリー蓮(一色1004-2) 図 ☎877-5715 阪本

◆定例ボランティア活動

7月9日(土)9時30分から 老人ホーム「葉山清寿苑」どなたでもどうぞ 図 ☎875-6734 大熊(ボランティア連絡協議会)

◆「珈琲のおいしい入れ方」教室

大正時代、日本にコーヒー文化を広めた銀座カフェパウルスタの日東珈琲が無農薬豆を使って入れ方を教えます。7月9日(土)13時30分～16時 逗子文化プラザB会議室 無料 ☎871-3109 武藤(福祉クラブ生協)

◆「こころの病と社会」

こころの病が社会の変化をどう受けるか社会がこころの病との共存にどのような役割を果たせるか 7月9日(土)13時30分から(開場13時) 鎌倉市社会福祉協議会2階大会議室 入場無料 講師：なだいなださん 図 ☎0467-61-3205 鎌倉市地域生活支援センターとらいむ内 青い麦の会

◆ホルスト・アンテスによる講演会

「わたしのふたつの作品について」 7月10

日(日)14時～16時(13時30分開場) 受講 近代美術館 葉山 70人(申込先着順) 無料 氏名・住所・電話番号を書いて、ファックスにて 5日(火)必着 図 ☎875-2800 図 ☎875-2968 近代美術館 葉山

◆終戦記念日企画 アニメ「キムの十字架」

7月17日(日)14時から 逗子アリーナ第一会議室 入場無料 図 ☎875-7126 阿部(くらし・平和・民主主義を守る逗子・葉山懇談会)

◆あつまれ！好奇心

野外活動を通じて、子どもの自然への探究心や生きる力を養います。みんなで各種ゲームや昼食を楽しみましょう。小学1～4年生対象 7月18日(月祝)9時～13時(雨天決行) 森山神社 無料 図 ☎875-2111 鈴木(ボーイスカウト葉山第1団)

◆子どもにむけるまなざし

幼児期のシュタイナー教育について講演会を開催します。7月18日(月祝)9時30分～11時30分 鎌倉生涯学習センター 講師：吉良創さん 1,500円 図 ☎871-7827 中島(うみのこびと)

◆EM(有用微生物群)特別講演会 in ZUSHI 「青い海、みどり豊かな環境を！」

7月23日(土)13時開演(12時開場) 逗子文化プラザ「なざさホール」 講師：比嘉照夫さん(琉球大学教授)その他事例発表、生ごみリサイクルや手づくり石けんの実演、EM製品の販売など 図 ☎0467-45-4367 E M ネット神奈川

◆JAZZ FESTIVAL～真夏のジャズ～

8月7日(日)15時から 葉山公園下大浜海岸TST Hayama特設ステージ モヒカーノ関、ラテンジャズバンド 藤田明夫パルチーグ他ゲスト多数 図 ☎050-1161-6356 安室

◆みんなで海をきれいにしよう！ (財)かながわ海岸美化財団会員募集

現在、総合学習の受け入れなどを通じて、海、ごみ問題、環境、そこで暮らす生物のことなどについて話し、一緒に考えています。活動にご賛同いただける会員を募集しています。 図 ☎0467-87-5379(財)かながわ海岸美化財団 <http://www.bikazaidan.or.jp>

◆海の安全活動に参加してみませんか！

7～8月の毎週土日に救助活動を含む海水浴場のパトロール、子ども対象の安全イベントやビーチクリーンなどのライフセービング活動に参加していただける人を募集 老若男女、誰でも参加できます。 図 ☎090-2224-7527 高橋 NPO 葉山ウェイヴスアンドサンズ Email: k1t@ee.e-mansion.com

◆TBSラジオ第7期環境キャンペーン

7月18日(月祝)他2日間予定 一色海岸 午前：著名人と海岸全体をビーチクリーン※TBSラジオ特製ビニール袋を配布、先着プレゼントも。午後：磯遊び教室、ワークショップなど 図 ☎03-3746-6666 TBSラジオ

掲載を希望するときには、掲載したい月の前々月末日正午までに、企画課(☎内線333)へお電話ください。営利目的のもの、宗教・政治色の強いものは掲載できません。